

# 合意形成の円滑化による道路空間の 利活用促進に向けて

(研究期間：平成 28 年度～平成 29 年度)



道路交通研究部 道路環境研究室 主任研究官 小栗 ひとみ 室長 井上 隆司

(キーワード) 道路空間利活用, オープンカフェ, 合意形成, プロセス分析

4.

暮らしやすさの向上

## 1. はじめに

国土交通省では、道路空間の利活用ニーズの高まりを受け、道路空間を活用した地域活動の推進の取組んでいる<sup>1)</sup>。道路空間の利活用においては、多様な関係者間の合意形成が課題となっていることから、国総研では、利活用のさらなる促進に向けて、議論の焦点となることが多い占用時の交通への影響や利活用効果を明らかにし、効果的・効率的に合意形成を進めるための方策について検討を行っている。

## 2. 利活用事例における合意形成プロセスの分析

運用中の利活用事例を対象とした実態調査を行い、各事例における合意形成プロセスの分析を通じて、合意形成にあたっての課題とその解決ポイントを抽出した(図1)<sup>2)</sup>。これら分析結果について、活用意向はあるものの本運用に至っていない事例を対象に妥当性を検証し、事業分類別に事業導入・合意形成の流れと各種の協議や手続きにおける合意形成の円滑化ポイントを取りまとめている。

## 3. 交通機能への影響およびその把握手法の整理

運用中の利活用事例について、道路の有効幅員と

占用範囲、歩行者通行スペースとの関係を整理するとともに、オープンカフェを対象とした現地計測調査を行い、交通への影響実態を分析している。また、利活用主体が効率的に調査を実施できるよう、交通実態の具体的な把握方法について整理を行っている。

## 4. 事業効果の体系化およびその把握手法の整理

直接的な「人の動きの変化」からの効果の連関に着目し、取り組みの持続性の観点も含めて効果項目を体系的に整理するとともに、調査効率や結果の信頼性も考慮して、調査手法や手順など効果の具体的な把握手法について検討を行っている。

## 4. 今後の予定

本研究の成果は、「道路空間の利活用促進のための効果的・効率的な合意形成の進め方ガイドライン」ととりまとめ、関係者間での合意形成を円滑に進めるための参考資料として活用を図る予定である。

☞ 詳細情報はこちら

- 1) 国土交通省道路局：道路占用ホームページ <http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/senyo/senyo.html>
- 2) 小栗ひとみ・井上隆司・瀧本真理：道路空間利活用における合意形成プロセスと合意形成円滑化ポイントの分析、土木計画学研究・講演集Vol.56、No.213、2017

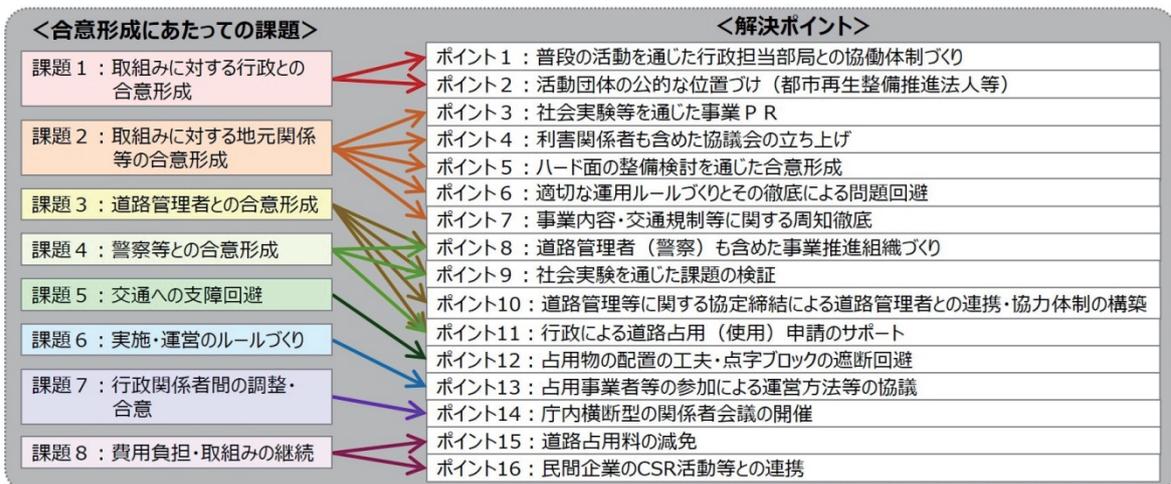


図1 合意形成にあたっての課題と解決ポイント